

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
東京サラヤ株式会社	代表取締役社長	更家秀児	東京都	卸売業, 小売業	https://www.saraya.com

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	
-------	--

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A	①	取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A	⑩	トラック運転者が適切に休憩を取りつつ運行することが可能となるように、発荷主としての出荷予定時刻を厳守します。
3	A	⑩	受注日翌日の出荷に変更する事により、発倉庫での作業時間の短縮と、平準化が図れるよう取引先と協議します。
4	A	⑮	取引先から隔日配送化、定曜日配送化等の納品日の集約に関する提案があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
5	A	⑯	取引先から外装段ボールに汚れ、擦り傷があっても、販売する商品に影響がなければ返品しない等の検品水準の適正化に関する提案があった場合は、協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
6	F	①	紙の納品書を電子化する事により、発倉庫での伝票発行、付帯作業の軽減に取り組めます。

PR欄	<p>SARAYAでは、「衛生」「環境」「健康」という3つのキーワードを事業の柱とし、より豊かで実りある地球社会の実現を目指しています。SDGsを企業活動目標に取り入れており、持続可能な産業化や生産・消費 及び 労働や雇用における環境の改善の観点から「ホワイト物流」推進運動にも、荷主企業として主体的に提案して参ります。また、外装基準の見直しについても積極的に提案し、サステナブルな物流への取り組みを提案して参ります。</p>
-----	---